

▶プロ選手からのアドバイスを受けながら運動する子どもたち。



このイベントは、小学校区や市域を超えた子どもたちの仲間づくりのきっかけとなることや、圏域のプロスポーツチームの選手等との交流によって地域への愛着や一体感の醸成を図ることを目的としています。

■キッズふれあいスポーツフェスティバルを開催  
2月23日に、松江市総合体育館で「第4回キッズふれあいスポーツフェスティバル」を開催しました。

電話 0852-55-5056

問い合わせ  
中海・宍道湖・大山圏域市長会事務局

圏域5市と鳥取県西部7町村の小学校1・2年生とその保護者42組が参加し、地元スポーツチームの島根スナオマジック、ガイナレ鳥取、ディオッサ出雲の皆さんと楽しく体を動かしました。

講師は自治体や企業の宣伝を手掛ける殿村美樹氏。「地方で頑張る中小企業のブランド戦略」をテーマとするセミナーに、圏域の民間事業者や行政の若手中堅職員38人が参加しました。

受講生は、セミナーを通して所属する組織や自治体のPR方法やPRの際に意識すべきポイントなどを学びました。さらに、参加者同士の名刺交換やグループディスカッションは、圏域内の組織や自治体の枠を超えた仲間づくりの場となりました。

圏域の未来を担う若い世代の人材育成を目的とした「山陰まなか未来創造塾」。1月から3月にかけて全3回開催しました。

講師は自治体や企業の宣伝を手掛ける殿村美樹氏。

「地方で頑張る中小企業のブランド戦略」をテーマとするセミナーに、圏域の民間事業者や行政の若手中堅職員38人が参加しました。



中海・宍道湖・大山圏域  
**市長会  
通信** 25



▶セミナーの様子。

## マダニが運ぶ感染症に 注意しましょう

マダニから感染する重症化率の高い病気（日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）等）が、鳥根県東部でも発生しています。

キャンプ・ハイキング・農作業など、山や草むらでの活動が多くなる春から秋は、マダニも盛んに活動します。身近な庭先でも、マダニが生息する場所では、次のことに気をつけましょう。

### マダニにかまれないためのポイント

- 地面に座るときは敷物を使う
- 肌の露出を少なくする  
帽子や手袋の着用、首にタオルを巻くなどの対策をしましょう。
- 長袖、長ズボンなどを着用し、裾を中に入れる
- サンダル等は避け、足全体を覆う靴を履く



### ●明るい色の服を着る

マダニを目視で確認しやすくなります。

### ●マダニに効果のある防虫スプレーを使用する

### ●屋外活動後は上着などを家の外で脱ぎ、入浴時にマダニにかまれていないか確認する

わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、頭部（髪の毛の中）などは、特に注意して確認しましょう。

### マダニにかまれたときの対処法

### ●マダニを自分で取ろうとしない

マダニを取り除くためにつまむと、病原体がマダニからヒトの体内に逆流する場合があります。自分で取り除かず、皮膚科などの医療機関を受診しましょう。



### ●2週間以内に発熱などの症状が出た場合は速やかに医療機関を受診する

受診時には、野外活動の日付（マダニにかまれた日付）、活動した場所、発症前の行動について医師に伝えましょう。

問い合わせ 松江保健所

電話 0852-23-1317